

平成 29 年神奈川県
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

子 ど も の 保 健

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …



(濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) …



- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、保育所の保健活動の意義と目的に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保育士は保育中において、感染症の疑いのある子どもの身体的なケアをするとともに、他の子ども達と同じ保育室で保育が受けられるように心の面での配慮をする。
- B 保育士は、ヘルスプロモーションの考え方を念頭に、乳幼児に歯ブラシを持たせるのは危険であることを優先して、保育中は仕上げ磨きのみにするべきである。
- C 保育士は、乳児の欲求にはすべて応えるように努めるが、幼児では個々の子どもの様々な欲求を満たすことよりも集団生活の中で規律正しく動くことを優先する。
- D 保育士は、登園時、降園時には親子の様子を観察し、保護者に声をかけ、家庭での様子を把握し、保護者との信頼関係を形成することが重要である。
- E 乳幼児期に望ましい生活習慣を身につけることは将来の健康にもつながるという認識を持ち、まずは保育士自らが子どもの望ましい生活習慣のお手本となるように努める。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ | ○ |

問2 次の文は、わが国の人口動態統計による出生の動きに関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 過去の合計特殊出生率について、1947～1949（昭和22～24）年の第一次ベビーブームでは4を、1971～1974（昭和46～49）年の第二次ベビーブームでは3を超えた。
- 2 合計特殊出生率について、2015（平成27）年は1.45であり、第二次ベビーブーム以降、毎年ゆるやかに減少し続けている。
- 3 出生数は、第一次及び第二次ベビーブームでは200万人を超えたが、2016（平成28）年では100万人を下回ると推計されている。
- 4 第一子出産時の母の平均年齢は2012（平成24）年に30歳を超えたが、その後低くなり、2015（平成27）年では30歳を下回っている。
- 5 2014（平成26）年のフランスと2015（平成27）年の日本を比較すると、フランスは合計特殊出生率が2を超えて日本よりも高く、乳児死亡率が3を下回り日本より低い。

問3 次の文は、「保育所保育指針」第6章「保護者に対する支援」の3「地域における子育て支援」における「地域の子育ての拠点としての機能」に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 子育て等に関する相談や援助の実施
- 2 不適切な養育や虐待が疑われる子どもの保護及び保育所入所
- 3 子育て家庭の交流の場の提供及び交流の促進
- 4 子育て家庭への施設及び設備の開放、体験保育等
- 5 地域の子育て支援に関する情報の提供

問4 次の文は、胎児と妊婦及び産婦に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 妊娠初期は心臓や目などの主要な臓器形成の時期であり、先天性風疹症候群が発生する時期であるので、妊娠前の予防接種が強く推奨される。
- B 胎児期は体重測定ができないので、発育曲線による胎児の発育の評価は行なわない。
- C 「母性健康管理指導事項連絡カード」に妊婦が希望の措置を記入して事業主に提出することにより、仕事についての適切な措置が講じられる。
- D 妊婦の喫煙は、低出生体重児発生率が増えるなど胎児の発育に悪影響があり、妊婦の飲酒は、胎児性アルコール症候群を引き起こすことが知られている。
- E 出産後の母親の1割以上に産後うつが起こるとされており、これはホルモンなどの体内の変化や育児の疲れなどが原因とされている。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ | × |

問5 次の文は、身体発育の評価に関する記述である。(A) ~ (E) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

乳幼児の身体発育の評価において、母子健康手帳でも使用されている方法として、小さい方から数えて何%目にあたるかというパーセンタイル値による(A)、身長と体重の交差するところをグラフに記入して幼児の肥満度を知る(B)がある。

「平成 22 年乳幼児身体発育調査報告書」(厚生労働省)の結果によると、平成 22 年の時点において、男女ともに平均値で、出生時と比べて4歳では、身長は(C)倍以上、体重は(D)倍以上になる。

頭蓋骨の頭頂部の隙間である(E)は、生後 18 か月頃に閉鎖し、乳幼児健診でチェックされるが、脱水症状で陥没することがある。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D | E |
|---|-----------|--------|-----|-----|-----|
| 1 | 乳幼児身体発育曲線 | 身長体重曲線 | 2 | 5 | 大泉門 |
| 2 | SD曲線 | カウプ指数 | 1.5 | 3 | 小泉門 |
| 3 | 乳幼児身体発育曲線 | ローレル指数 | 3 | 4 | 大泉門 |
| 4 | SD曲線 | 身長体重曲線 | 1.5 | 3 | 大泉門 |
| 5 | 乳幼児身体発育曲線 | カウプ指数 | 2 | 2.5 | 小泉門 |

問6 次の文は、感覚の発達と評価に関する記述である。不適切な記述の組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「平成28年度学校保健統計」(文部科学省)によると、裸眼視力1.0未満の近視の幼児の割合は2013(平成25)年以降、年々増加している。
- B 幼児期の視力測定は、ランドルト環単独指標を用いることが推奨されており、初めての場合、練習用の絵本を活用するなどして、まずは答え方の練習をする必要がある。
- C 2003(平成15)年から児童生徒等の健康診断の必須項目から削除されていた、学校における色覚検査が、2014(平成26)年から再び小学生全員に実施されることとなった。
- D 視力や聴力の異常は、乳幼児本人が訴えることは少ないので、保育士が保育活動中の観察を通して、その疑いを早期発見することが重要である。
- E 聴力検査はスクリーニング検査として、幼児期に聴性脳幹反応検査を行っている。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 B E
- 3 C D
- 4 C E
- 5 D E

問7 次の文は、乳幼児の運動機能の発達に関する記述である。(A)～(E)にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

首がしっかりとすわるまでは、首を支えた横抱きとし、おんぶはしない等、(A)に気をつける必要がある。寝返りができるようになったばかりの頃は、仰向けからうつ伏せになることができても、うつ伏せから仰向けに戻れないことがあり、(B)防止の観点からも十分気をつける必要がある。

はいはいの時期に、座った姿勢で移動する子ども((C))は歩き始めが遅くなることがあるが、必ず病気や障害があるわけではない。

(D)健康診査では、積み木を積むという微細運動、一人歩きができるという粗大運動のチェックがある。幼児期は脳神経系の発達における(E)であることをふまえて、幼児期には多様な動きを経験することに主眼を置く。

【語群】

| | | |
|-------------|---------------|-----------|
| ア 感受性期 | イ 過渡期 | ウ 運動発達遅滞児 |
| エ シャフリングベビー | オ 乳幼児揺さぶられ症候群 | カ 引き起こし反応 |
| キ 乳幼児突然死症候群 | ク 溢乳 | ケ 1歳6か月児 |
| コ 3歳児 | | |

(組み合わせ)

- | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | A | B | C | D | E |
| 1 | エ | カ | ウ | ケ | イ |
| 2 | オ | キ | エ | ケ | ア |
| 3 | オ | ク | ウ | ア | コ |
| 4 | カ | キ | ウ | コ | イ |
| 5 | カ | ク | エ | コ | ア |

問8 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

W君（6歳、男児）の成長曲線を見ると、1歳になる前から身長も体重も増加が遅く、その後も遅れが悪化していた。W君はこれまでに4回入院したが、入院中には急速な身長と体重の増加があり、退院すると再び激しい成長の遅れに逆戻りしている。

【設問】

W君に最も疑われる医学的な問題を一つ選びなさい。

- 1 成長ホルモン分泌不全
- 2 甲状腺機能低下症
- 3 神経性食欲不振症
- 4 愛情遮断症候群
- 5 脳腫瘍

問9 次の子どもの気になる行動に関する記述のうち、早期に積極的な対応を行わないと子どもの心の発達に深い影響をのこす可能性があるものを一つ選びなさい。

- 1 爪をかむ
- 2 夜尿
- 3 サイレントベビー
- 4 場面緘黙（選択性緘黙）
- 5 チック

問 10 次の文は、乳幼児の心の問題についての記述である。適切な記述の組み合わせを一つ選びなさい。

- A 指しゃぶりは歯並びに影響するので、乳児期においても歯が生え始めたらやめるように注意する。
- B 性器いじりは、男児については気にしなくてよいが、女児はすぐにやめさせる。
- C 子どもの過度の攻撃性は、甘やかしすぎや厳しすぎるしつけなどの家庭環境が背景にあることが多く、また子どもが疲労、空腹、退屈なときにも起こりやすい。
- D 夜泣きでは、哺乳などにおいて何らかの原因があるはずなので、両親特に母親から家庭での養育方法を聞き、原因を除去して改善するように積極的に援助する。
- E 乳幼児の心の健康は母親の心の健康と密接に関係しており、マタニティーブルーや産後うつなども考慮して、まずは母親の育児疲労を受容することが大切である。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 C E
- 5 D E

問 11 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

6か月前に妹が生まれたC君（3歳、男児）は、通っている保育所において3か月ほど前から時々言葉につまることが見られていたが、最近では頻回になっていた。C君の母親が保育所に相談に訪れ、妹が生まれてから育児に忙しくなり、C君に早口で命令的に話し掛けることが多くなり、C君が話し掛けてもゆっくりと話を聞かず、「何?」、「早く言って」など、せかすような言葉を掛けることが多くなったと話した。

【設問】

担当保育士のC君への対応として、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 クラスの友だちがC君のまねを何度もしたが、気付かないふりをした。
- 2 C君が話し始めたが言葉につまったので、言葉を補った。
- 3 本人ができるようになるまで、何度も発話の練習を行った。
- 4 ゆっくりと話し、C君が自然に話せるように環境を整えた。
- 5 吃音は、言葉の問題だけなので心理面に対する配慮は必要ないと考えた。

問 12 次の文は、地域子ども・子育て支援事業に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 乳児家庭全戸訪問事業 —— すべての乳児のいる家庭を訪問し、「子育てに関する情報提供」、「乳児及び保護者の心身の状況及び養育環境の把握」等を行う事業。
- B 妊婦健診 —— 市町村が必要に応じて妊婦に対して行う健康診査。
- C 子育て短期支援事業 —— 保護者の疾病その他の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、必要な保護を行う事業。
- D 地域子育て支援拠点事業 —— 乳幼児及びその保護者が相互に交流する場所を提供し、子育て相談、助言などを行う事業。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | ○ | × |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | ○ | × | × | × |
| 5 | × | ○ | ○ | ○ |

問 13 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

てんかんの既往症があるDちゃん（5歳、女児）が、園庭で友だちと遊んでいて、ひきつけを起こした。

【設問】

Dちゃんへの保育士の対応として不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 時計を見て発作が起きた時間を確認した。
- 2 顔は横向きにして、衣服をゆるめた。
- 3 怪我をしていないか、全身の観察を行った。
- 4 メモを持っていなかったので、職員室にメモをとりに行って急いで戻った。
- 5 周囲を片づけた。

問 14 次の文は、保育環境及び衛生管理に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 園内における感染症を防ぐために、子どもが自分の体や健康に関心を持ち、身体機能を高めていけるように支援していくことが大切である。
- 2 予防接種は、保護者に任せて、保護者が行う接種計画に従い、支援をしていくことが大切である。
- 3 多くの病原菌は手を介して伝播していくため、手洗いを入念に行う必要がある。
- 4 清掃は、感染症の広がりを防ぎ、安全で快適な保育環境を保つためにも効果的である。
- 5 おむつ交換は、糞便処理の手順の徹底を行い、手洗い場がある場所で、食事場との交差がない場所が望ましい。

問 15 次の文は、「保育所保育指針」第 5 章「健康及び安全」の一部である。(A) ～ (E) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

子どもの (A) の状態等を観察し、不適切な (B) の兆候が見られる場合には、(C) や関係機関と連携し、児童福祉法第 25 条の 2 第 1 項に規定する要保護児童対策地域協議会 (以下「要保護児童対策地域協議会」という。) で検討するなど適切な対応を図ること。また、(D) が疑われる場合には、速やかに (C) 又は (E) に通告し、適切な対応を図ること。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D | E |
|---|----|----|------|-----|-------|
| 1 | 心身 | 養育 | 都道府県 | 虐待 | 警察 |
| 2 | 心身 | 養育 | 市町村 | 虐待 | 児童相談所 |
| 3 | 心身 | 療育 | 市町村 | いじめ | 児童相談所 |
| 4 | 健康 | 療育 | 都道府県 | いじめ | 教育委員会 |
| 5 | 健康 | 養育 | 都道府県 | いじめ | 教育委員会 |

問 16 次の文は、子どもの発熱時の対応についての記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 子どもの身体は外界の刺激を受けやすく、体温が上昇しやすい。
- 2 体温が上がる過程では、寒気があっても高熱である場合、体を冷やす。
- 3 発熱の場合は、下痢や咳、発疹などそのほかの症状がみられていないか確認を行う必要がある。
- 4 子どもの発熱時には、衣服はこまめに交換を行う。
- 5 体温は、間脳の視床下部の体温調節中枢によって支配されている。

問 17 次の文は、頭部打撲の対応についての記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 機嫌や顔色が普段と変わらず活気があれば、頭痛があっても医療機関を受診する必要はない。
- 2 こぶができている場合は、冷たいタオルで冷やす。
- 3 鼻漏や耳漏がみられた場合には、すぐに医療機関を受診する。
- 4 保護者には、丁寧に報告を行い、自宅でも注意して観察を継続してもらうように伝える。
- 5 吐き気が出てきた場合には、医療機関を受診する。

問 18 次の文は、保育所で行う S I D S（乳幼児突然死症候群）の予防についての記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 医学的な理由で医師から指示がなければ、入眠時の体位は原則仰向けとする。
- 2 入眠中は、子ども達の顔色と呼吸状態の観察が十分にできるように室内は明るくしておく。
- 3 午睡の時間は、子ども達が眠っているため職員は別室で会議などの時間として有効に使う。
- 4 異常を発見した際には、ただちに心肺蘇生法を実施する。
- 5 稀に1歳以上で発症することがあるため、入眠中の観察は年齢に関係なく十分行う。

問 19 次の文は、保育計画の実践についての記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 一人一人の子どもの生活リズムや食習慣などを把握するとともに、年間の保健計画を作成し、発育・発達に適した生活ができるように活用する。
- 2 睡眠や食事、遊びなど1日を通した生活リズムを整えることは、心身の健康づくりの基礎となるため保護者の理解と協力を得ることが大切である。
- 3 それぞれの発達過程に応じ、体の働きやいのちの大切さなどを伝えることは、保護者の役割と考え保育所では指導する必要はない。
- 4 保護者に日々の健康状況や健康診断の結果などの報告、疾病時の看護の方法や感染予防など、保護者に働きかけを行う必要があることは、計画的に進めていく事が望ましい。
- 5 健康診断の際には、一人一人の子どもの発育・発達状態と健康状態を伝えるとともに、保護者の質問等も伝え、医師の適切な判断や助言を受ける事も大切な役割の一つである。

問 20 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

3歳児クラスのB君（3歳、男児）は、2日間保育所をお休みしていた。今日登園してきたB君のお母さんからB君について、「中耳炎で高熱が出た。今日は熱も下がり、病院の先生からも通園は問題ないと言われた。内服薬がしばらく続くので、今日の昼食後も薬を飲ませて欲しい。」と言われた。

【設問】

この後の保育士の対応について、不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 昨日の様子や今日の朝の様子を詳しく聞き、気をつけることは何かあるかと尋ねた。
- 2 「朝は急いでいる」と言ったので、夕方のお迎えのときに与薬依頼票を書いて欲しいと伝え了解を得たので、薬を預かった。
- 3 預かった薬は、他の子どもが触れないように、鍵のついた棚に保管した。
- 4 複数の保育士で薬の内容、量、時間など、与薬のミスが起こらないように何度も確認を行った。
- 5 日中具合が悪くないか、他の保育士と協力しながら観察をおこない小さな変化にも気付けるように気を配った。

